

おのの議会だより

No.213

令和3年1月25日



お互い気を付けて助け合いながら雪に対応しましょう。

(撮影：令和3年1月13日 廣瀬浩司議員)

主な内容

| | |
|-----------|-------|
| 12月定例会の概要 | 2 |
| 議案等の各議員表決 | 3 |
| 一般質問の概要 | 4～9 |
| 常任委員会審査報告 | 10・11 |
| 特別委員会報告 | 11・12 |

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

令和2年度一般会計補正予算（第9号）
一般会計予算に3億1345万円を追加（議案第65号）

| 補正のあった主な内容 | 補正額 |
|-------------------------------------|----------|
| ふるさと納税寄付額の増加に伴う経費 | 1888万円 |
| ふるさと納税寄付額の増加見込みによる基金積立 | 3500万円 |
| ソバの無農薬・無化学肥料栽培等の取り組みを支援する経費 | 790万円 |
| 二ホンジカやツキノワグマの大量出没等に対応する経費 | 974万円 |
| 冬季除雪に必要な経費 | 1億7500万円 |
| 教師用の教科書、指導書、デジタル教科書の購入経費 | 1517万円 |
| 乾側小学校の先行再編に向けた統合記念式典の経費及び統合記念事業への補助 | 155万円 |
| 被災した林道の復旧工事費 | 4205万円 |
| 職員給与費 | △6775万円 |

令和2年度大野市一般会計補正予算（第8号）
1055万円を追加（議案第94号）※専決処分された予算です

| 補正のあった主な内容 | 補正額 |
|--|---------|
| 健康診断等会場にAI体温カメラを設置する経費 | 84万円 |
| プレミアム付商品券「がんばれ大野地域応援券」の小規模店専用券を追加販売するための経費 | 3278万円 |
| 国の持続化給付金を受給した製造業者に電気料の一部を支援する経費 | 3400万円 |
| 国の持続化給付金の対象外事業者への給付金 | △6700万円 |
| 学校や施設等のトイレを洋式に改修する経費 | 1279万円 |
| 給食運搬時の衛生管理を徹底するための経費 | 93万円 |

12月定例会の概要

第421回定例会市議会は、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催されました。今回の定例会では、令和2年度の一般会計や特別会計の補正予算案、条例の制定・改正、専決処分の承認など、31議案のほか、9月定例会から継続審査となっていた令和元年度決算認定議案2件、そして陳情3件、市会案1件について審議しました。

審議結果等は、3ページのとおりでです。

令和2年度大野市一般会計補正予算（第10号）
524万円を追加（議案第95号）

| 補正のあった主な内容 | 補正額 |
|-----------------|-------|
| ひとり親世帯への臨時特別給付金 | 524万円 |

条例の制定・改正

大野市和泉地域交流センター設置条例

令和3年3月21日に大野市和泉地域交流センターが設置されます。

大野市部設置条例の一部を改正する条例

令和3年度の機構改革に向け改正され、現在の3部から5部となります。

大野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

教育に関する事務のうち(1)公民館・ふるさと自然の家及び本願清水イトヨの里の設置、管理及び廃止に関すること、(2)スポーツに関すること、(3)文化に関すること、(4)市長が管理、執行することとなります。

市会案第5号

防災・減災、国土強靱化対策の強化と地方創生の推進を求める意見書

議員提出の市会案です。初日の11月30日に原案可決され、内閣総理大臣、政府関係機関等へ意見書を提出いたしました。

その他の議案

冷凍冷蔵ショーケース買契約の締結について

道の駅越前おおの荒島の郷に冷凍冷蔵ショーケース27台を導入する契約を認めました。

請願・陳情

日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情

○陳情者 原水爆禁止国民平和大行進・世界大会

福井県実行委員会代表委員 鈴木孝典さん

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情

○陳情者 福井県社会保険推進協議会代表委員 平野治和さん外2人

不採択となりました。

泉町地区の下水道管敷設工事による「地下水環境への影響調査」の実施を求める陳情

○陳情者 「大野の酒」を守る会 桑森誠一郎さん

★3月市議会定例会の日程のお知らせ★

| 日程(案) | 区分 | 審議等の内容 |
|-------|-------|---|
| 3月1日 | 月 本会議 | 常任委員会・議会運営委員会委員の選任、議案上程、提案理由説明 |
| 8日 | 月 本会議 | 代表質問、(一般質問) |
| 9日 | 火 本会議 | 一般質問 |
| 10日 | 水 本会議 | 一般質問、請願・陳情上程 |
| 11日 | 木 委員会 | 10:00 産経建設常任委員会 |
| 12日 | 金 委員会 | 10:00 産経建設常任委員会 |
| 15日 | 月 委員会 | 10:00 民生環境常任委員会 |
| 16日 | 火 委員会 | 10:00 民生環境常任委員会 |
| 17日 | 水 委員会 | 10:00 総務文教常任委員会 |
| 18日 | 木 委員会 | 10:00 総務文教常任委員会 |
| 19日 | 金 委員会 | 10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会 |
| 24日 | 水 本会議 | 各委員長報告、質疑、討論、採決 |

令和2年12月第421回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認された議案

| 議案番号 | 議案名 |
|------|--------------------------------------|
| 60 | 令和元年度大野市水道事業会計の決算認定について【継続審査】 |
| 65 | 令和2年度大野市一般会計補正予算（第9号）案 |
| 66 | 令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）案 |
| 67 | 令和2年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第2号）案 |
| 68 | 令和2年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案 |
| 69 | 令和2年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）案 |
| 70 | 令和2年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案 |
| 71 | 令和2年度大野市水道事業会計補正予算（第1号）案 |
| 72 | 令和2年度大野市簡易水道事業会計補正予算（第1号）案 |
| 73 | 令和2年度大野市下水道事業会計補正予算（第1号）案 |
| 75 | 大野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例案 |
| 78 | 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案 |
| 79 | 大野市諸収入金に対する督促及び滞納処分に関する条例の一部を改正する条例案 |
| 80 | 大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案 |

| 議案番号 | 議案名 |
|------|---|
| 81 | 大野市介護保険条例の一部を改正する条例案 |
| 82 | 大野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案 |
| 83 | 大野市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例案 |
| 84 | 指定管理者の指定について（大野市立集会所） |
| 85 | 指定管理者の指定について（大野市体育施設） |
| 86 | 指定管理者の指定について（大野市健康保養施設） |
| 87 | 指定管理者の指定について（大野市立農村集落多目的共同利用施設） |
| 88 | 指定管理者の指定について（大野市特用林産物生産・加工施設） |
| 89 | 指定管理者の指定について（大野市麻那姫湖青少年旅行村） |
| 90 | 指定管理者の指定について（大野市元町会館） |
| 91 | 指定管理者の指定について（大野市駐車場） |
| 92 | 指定管理者の指定について（大野市都市公園） |
| 94 | 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度大野市一般会計補正予算（第8号） |
| 95 | 令和2年度大野市一般会計補正予算（第10号）案 |



各議員の表決が分かれた議案等

| 議案番号・議案名等 | | 議員名（議席番号順） | 議決結果 | 廣 | 木 | 林 | ダ | 白 | 伊 | 松 | 廣 | 堀 | 高 | 野 | 梅 | 永 | 松 | 川 | 高 | 畑 | 榮 | |
|-----------|----|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 瀬 | 戸 | 順 | ニ | 崎 | 東 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 |
| 市長提出議案 | 59 | 令和元年度大野市歳入歳出決算認定について【継続審査】 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 74 | 大野市和泉地域交流センター設置条例案 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 76 | 大野市部設置条例の一部を改正する条例案 | 可決 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 77 | 大野市和泉情報通信施設の設置及び管理運営に関する条例等の一部を改正する条例案 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 93 | 冷凍冷蔵ショーケース売買契約の締結について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 市会案 | 5 | 防災・減災、国土強靱化対策の強化と地方創生の推進を求める意見書案 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 陳情 | 9 | 日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情 | 趣旨採択 | 賛 | 賛 | 否 | 否 | 賛 | 否 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | / | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 |
| | 10 | 75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情 | 不採択 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 賛 | / | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 賛 |
| | 11 | 泉町地区の下水道管布設工事による「地下水環境への影響調査」の実施を求める陳情 | 不採択 | 否 | 否 | 否 | 賛 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 賛 | / | 否 | 否 | 否 | 否 | 否 | 賛 |

議長（梅林厚子）は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×

陳情の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」。

陳情9号は趣旨採択とすることへの「賛」「否」

機構改革における地域づくりの強化とは



新風会・公明
はやし 順和 議員



和泉をモデルに、住民と公民館の「協働」で取り組む

問 令和3年4月の機構改革における和泉地域交流センターの位置付けは。

答 公民館業務を市長部局の地域づくり部が所管し、安心して暮らせる環境づくりや自主防災組織の支援、空き地、空き家の調査、地域の支え合いの仕組みづくりなどを強化する。センターは3月21日のオープンを目指し整備中。住民同士だけではなく地区内外との交流促進を図る。住民と公民館の協働による地域づくりが、公民館を中心とした地域づくりのモデルとなるよう取り組んでいく。

問 地域づくりは熱意、気持ちがあれば続かない。温度差があり、一気に進めることはないのか。

答 地区によって状況が違ふことから、一斉にということではない。

問 業務が増える中、公民館長の権限や職員の配置など、組織強化が必要。適正配置を心掛ける。和泉地区の成果を見て他地区にも広めていきたい。

問 重要課題を検討する場の設置など、部の数が五つに増えたと今まで以上に連携が大事だが、移住施策など人口減少対策はどの部署が担当なのか。

答 市全体の人口減少対策の推進役は行政経営部が、移住施策は地域づくり部が担当とともに各分野が連携して取り組む。

問 教育委員会と福祉事務所の役割分担は。

答 乳幼児期から学童期に至る子育て支援を切れ目なく実施できる体制として、子ども、子育て支援を教育委員会が所管。事務所の配置を大幅に変更することによる市民の不安なども考え、市民サービスの低下とならないよう検討する。

一般質問

市長、副市長抜きで収賄事件の記者会見を行った反省すべき点は



日本共産党大野市議員団
のむら 勝人 議員



当日記者会見に臨めなかったことは申し訳なかった

問 新聞報道によると、複数の職員が農業林振興課課長補佐と業者との蜜月関係に気付いていたと記されているが事実なら、なぜ収賄行為に至る前に、その職員の行動をチェックして、部内で解決できなかったのか。

答 そのような事実、うわさは確認していない。職員には常に倫理規程の遵守を徹底させている。このようなことが起きたことは誠に残念だと思う。

問 市長、副市長抜きで記者会見を行ったことについて反省すべき点は何か。

答 市長、副市長とも公務があり記者会見に臨めなかった。逮捕後早急に事実関係情報をお知らせするというところで記者会見を行い、その後定例の記者会見でお騒がせしたことについて市長が謝罪した。当日にできなかったことは申し訳ないと思う。

問 市職員の処分が決まらないうちになぜ業者の指名停止を決めたのか。

答 今、逮捕されて起訴されるかどうかという時期なので、これについては適切に対応させていた。だいたい。

問 泉町地区の下水道工事は10月から12月に限定されるため工事期間が長い年月になる。その間上水道を利用することになるが、工事後井戸への切り替え工事やそのときに発生するトラブルの費用、地域の高齢化、空き家増で、加入率の増加も望めない。財政面を考えると合併浄化槽でも良いのでは。

答 なかなか加入していただけないこともあるが、職員が加入促進に向けて努力して健全経営になるようにしていきたいと考えている。

市政運営にどう取り組むのか



第六次大野市総合計画の重点化、効率化に取り組む

問 市長就任3年目の年になるが、市政運営をどのように評価され、取り組まれるのか。

答 本市の最大の課題は、人口減少に対応することと考える取り組んできた。この考えの下、高速交通網の整備を最大のチャンスと捉え地域経済を活性化させるための高速交通アクションプログラム、赤ちゃんからお年寄りまで全ての市民が健康でイキイキと暮らせる健康のまちづくり、若者が大野で結婚したい、子育てをしたい、住み続けたいと思ってもらうための大野ですくすく子育てパッケージの三つを重点に進め、市民と一緒に頑張って市政を展開するとともに、昨今の新型コロナウイルス感染症対策にも柔軟かつ適切な対応に努めてきた。令和3年度は第

六次大野市総合計画となるため、重点化と効率化に取り組む。

問 去る11月19日に大野市農業林業振興課課長補佐が収賄容疑で逮捕され自宅捜索を受けたことについて、てん末と具体的な再発防止策は。

答 11月20日に警察から検察に身柄が送致され、裁判所により勾留決定がなされている。警察、検察に対しては、関係書類の押収に協力したほか、関係部署の職員の事情聴取等に協力してきた。当該職員と面会が可能になった時点で事実確認の上、厳格に対応する。昨年の不祥事を踏まえ、公務員倫理の遵守と適正な公金の取り扱いを徹底してきた。研修を計画的かつ定期的に実施する。

清風会

ながた

まさゆき

議員



再編計画検討委員会のこれまで6回の総括は

中学校は2校、小学校は和泉小学校を残し、複式学級を解消することで概ね意見が一致した

問 今年度、小中学校再編検討委員会が設置され、これまでに6回の会議が開催された。教育委員会としての総括は。

答 中学校は2校、小学校は和泉小学校を残し、複式学級を解消することで概ね意見の一致が見られた。

問 中学校の再編に向けた着眼点は、専門教科教員を配置すること。現在、開成中、陽明中では専門教科教員が配置されているが、令和5年はどのようなになるのか。

答 令和5年になると両中学校とも学年3クラスがほとんどとなり、部分的に免許所有の教員でない教員が教えることになる。しかし、中学校を2校に再編すれば学年4クラスとなり、専門教科の教員が置ける。

問 今年度、小中学校再編検討委員会が設置され、これまでに6回の会議が開催された。教育委員会としての総括は。

答 小学校は児童数40人で1・2年が単式で3・6年が複式。阪谷小は児童数25人で1・2年、3・4年、5・6年と三つの複式。乾側小は児童数12人で同じく完全複式。

問 保育園保護者連合会のアンケート結果を見ると、小山小、阪谷小、乾側小の保育園の保護者の方でも過半数の54%が、市全体でいうと70%の方は1学年1学級が望ましいと答えている。小学校の登下校の距離と時間について教育長の考えは。

答 小学校の場合には、発達から考えて親元であったり地域であったり、温かい見守りの中でということが基本になると考える。

新風会・公明

ひろせ

こうじ

議員





新風会・公明
たかだ やすまさ
高田 育昌 議員



市職員不祥事での第三者委員会による 検証が必要ではないか

裁判の行方等を見た中で考える

問 市職員不祥事に対する市議会から申入れた7点に対する考えは。

答 1点目「事件の徹底説明」については、警察、検察の捜査協力が第一と捉え、事件発生の背景や要因を明らかにしていく。2点目「警察への捜査協力」については、事件に関係する書類の押収に協力し、関係部署の職員の事情聴取にも協力している。3点目「職員の綱紀粛正」については、公務員倫理や法令遵守の研修を実施し倫理に対する意識付けを図る。4点目「再発防止」については、事件発生の背景や要因を明らかにし、適切に対応していく。5点目「市民への情報開示」については、記者発表や市ホームページなどにより、お知らせするケア」については、

冷静に平常心で業務に臨むよう指示し、個々の職員の心の健康に留意していく。7点目「遅滞なく議会に情報を報告すること」については、適時適切にお知らせする。

問 市役所の体制にも問題があり疑問も生じるが、外部有識者の第三者委員会による検証が必要ではないか。

答 裁判の行方等を見た中で考えていく。

問 南六呂師地区の星空保護区認定を取得した後展開は。

答 ナイトタイムエコノミーという宿泊につながる観光や星空を楽しみ住み続けたいまちとして取り組んでいきたい。また環境省と関係自治体が主催している星空の街・あおぞらの街全国大会の令和5年度における誘致を目指したい。

一般質問

核兵器禁止条約の2021年1月22日 発効については

関係機関と連携して核廃絶と 世界の恒久平和に向けて取り組む



日本共産党大野市議員団
さかい まさお
榮 正夫 議員



問 日本時間10月25日未明、批准国50に達し核兵器禁止条約の発効が確定した。大野市は非核平和都市宣言の自治体として賛同する意義があるのではないか。

答 日本が昭和51年に批准した核兵器の不拡散に関する条約は、米・露・英・仏・中5カ国の核兵器保有国以外への核兵器拡散を防止することと各締結国による核軍縮交渉を進めることを目的に現在190以上の国や地域で批准している。一方、核兵器禁止条約は平成29年7月7日に国連加盟国の6割を超える122カ国の賛成で採択され、批准した国や地域が発効要件に達したため令和3年1月に発効予定である。

その特徴は被爆者の苦しみと被害に触れ人道の諸原則の推進のために核兵器廃絶に向け被爆者などの努力にも言及し、核兵器の開発、実験、保有、使用などをいかなる場合にも禁止していることと定められた期限までに核兵器を廃棄する義務を果たすことを前提に核保有国も条約に加盟できると等である。

政府は条約への署名、批准に積極的な立場ではない。

本市は平成3年9月20日に非核平和都市宣言を市議会で決議し、毎年、原水爆禁止国民平和行進の出発式に参加するとともに平和首長会議に加盟しており同会議の活動を通じて世界の恒久平和の実現を目指している。

今後とも国の動向や世界の情勢を注視しつつ、関係機関と連携しながら核廃絶と世界の恒久平和に向けて取り組む。

中部縦貫自動車道工事の進捗状況について

しんちよく



清風会

ひろた

憲徳

議員



現在は工事が順調に進んでいる

問 大野油坂道路工事の進捗状況は。

答 現在は、工事が順調に進んでいると聞いています。令和2年3月末の各区間の事業費ベースにおける進捗率は、大野・大野東区間5・5キロメートルでは約21割、大野東・和泉区間14キロメートルでは約48割、和泉・油坂区間15・5キロメートルでは約17割と聞いています。

問 大野ICから大野東IC区間の農地、農道、農業施設を横断しており、それらを仮設にて対応されているが、原状回復工事のスケジュールは。

答 おおむね令和3年度中に予定していると聞いています。地権者や耕作者の中には仮設の用排水路の本設工事がいつになるかに加え、取水口や田んぼへの乗り入れの位置などに不安を抱かれています。方もおられることから、

国に対して整備事業が円滑に進むよう排水路の本設工事も含めた工事のスケジュールなどについて関係者への説明の場を設けていただくよう働き掛けるとともに、関係者との調整に努めていく。

問 第六次大野市総合計画に新たに「みんながでること」が項目として追加されるが、大野市水循環基本計画に関連する「みんなができること」とは何か。

答 「河川や道端にごみを捨てない、捨てさせない意識を持ちます」、「県内の河川流域の上流に住むものとして責任を自覚します」等が挙げられます。これらを促進し、市民の意識を高めていくことにより、ごみのポイ捨てをしないことや生活雑排水をたれ流さないことにつながっていききたい。

学校の存在は人口減少対策の大事な要素ではないか

小学校の位置と恵まれた教育環境の両方が大切だ



未来おおの

きとややよみ

議員



問 人口がどんどん減り続けている中で、学校の存在を人口減少対策の大事な要素として位置付けるのは、重要な施策である。特に、小学校については、歩いて通える範囲にある、通学に不安を感じない所にある、そういう点で、働く世代、子育て世代にとって大事だと思うがどうか。

答 小学校の統合については、まずは複式の解消である。子育て世代にとって学校が近くにあるということは一つの要件であると思う。子育て世代の親御さんにとって小学校の位置というのも大きな課題であるが、恵まれた教育環境も大きな要件であると思う。両方が大切だという視点で考えるべきだと思う。

問 学校の配置に関して、全部、教育委員会に任せるとは、人口がどんどん減り、まちづくの視点としても考える必要があるのではないかと考えている。

答 そういふ考えは必要だと思っている。平成31年度より今日まで、本市職員が不祥事で処分された事件についての概要とその後取られた再発防止策は何か。

答 令和元年度の懲戒処分となる事案は、9月10日に発覚した体育施設使用料などを着服したものの。10月25日に発覚した課長などの印鑑を無断使用したものである。全庁的に職員の綱紀肅正と服務規律の遵守を徹底した。

問 今回の事件について、今後どうしていくのか。

答 本人と接触できる機会があれば、事実確認もしながら原因解明などにも取り組んでいく。その後、対応策も検討する。

一般質問

男女共同参画プランにおける 課題の認識と解決策は

固定的な性別役割分担意識を払拭するため
男女の意識改革の取り組みを進める



新風会・公明

伊東由起恵
議員



問 男女共同参画プランにおける課題の認識と解決策は。

答 課題においては、女性の参画が少ないという事が挙げられ、市審議会等の女性委員の登用促進に努める。固定的な性別役割分担意識を払拭するために男性の家事、育児への参画促進講座など男女の意識改革の取り組みを進めていく。

問 市内における男性の育児休業取得状況は。

答 ハローワーク大野によると、過去3年間に育児休業を取得した男性は毎年1人ずつ、取得期間はそのそれぞれ1カ月未満である。また、これまで市職員の中で男性の育児休業取得はなかった。

問 介護と育児を同時に行うダブルケアや孤独死、虐待など新たな課題が表面化している。どんな相

答 結とびあを中心にした口や包括的な支援体制の充実を図っている。社会的孤立に陥っている人や引きこもりの状態になっている人など、支援にながりにくい人を必要な支援につなぐため、今後各種相談員との連携強化に取り組んでいきたい。

問 高齢者の1人暮らしが心配との声をよく耳にするが、様子がおかしいと気付いた場合どのように対応したらいいのか。

答 市の方に連絡いただき、必要を手立てをさせていただく。

一般質問

日中友好協会に市税を使用することの 見解は

諸外国と友好関係を築くことは意義あるものであり協会の活動を支援していきたい



無党派

ダニエル益資
議員



問 特に今年に入り中華人民共和国国内の人権状況が劣悪であるとの報道がなされている。それに

答 高度成長期の頃の大

問 英語・数学・音楽・スポーツ等で特に優れた能力を持った大野市の小学生に対し、どのような教育的配慮がなされているか。

答 今後引き続き沿線住民のご協力をお願いしたい。

問 大野市の鳥のふん問

答 今後引き続き沿線住民のご協力をお願いしたい。

持続可能なまちづくりを どのように形成するのか

市民と一体となって取り組んでいきたい



双葉会

高岡

和行



問 市長は持続可能なまちづくりをどのように形成しようと考えているか。

答 人口減少と少子化、高齢化が進む状況においても、ずっと住み続けたい持続可能なまちであるよう市民と一体となって取り組んでいきたい。

問 政治は結果責任である。大野市の人口は非常に深刻で2015年から2020年12月までで2890人減、17市町でワーストである。増えた年は一度もない。片や出生数は2016年以降年間200人割れである。これをどう考えるか。

答 さまざまな施策を講じてきたが、結果的に人口減少に歯止めがかからないのは事実である。このことを認識しながら次の施策につなげていくべきだと考えている。

と思うがその進捗（しんちよく）と成果は。

答 令和3年度からは、第六次大野市総合計画に基づき各種政策を踏まえた上で、行政改革・財政改革に取り組み、簡素で効率的かつ分かりやすい行政を進めていく。

問 大野市高速交通アクシヨンプログラムでは2022年度までに中部縦貫自動車道を油坂まで供用開始することとなっているが、現状は。

答 現時点では（仮称）和泉インターチェンジまでが供用開始予定であり、残る区間の要望活動を続けていく。

問 平成大野屋、農林楽舎はいつ市から独立できるのか。

答 できる限り事業費を減額するよう取り組んできた。今後も減額に努めたい。

持続可能な財政運営について 経常収支比率などをどう改善するのか

重要となる指標は前期基本計画の成果指標に盛り込むことを検討する



未来おおの

松田

元栄



問 持続的に支える自治体経営とは何か。

答 第六次大野市総合計画前期基本計画（素案）の行政経営分野の中で情報共有については、市民に行政情報が正確に伝わり理解され、市民の意見が市政に生かされているま

ちを目指す。
協働・連携については、住民主体の地域づくりや市民協働のまちづくりを目指す。

市民サービスについては、申請などの手続きのオンライン化を推進し、分かりやすく丁寧な市民サービスが提供されているまちを目指す。
行財政については、健全な行財政基盤を維持し、市民が安心して住み続けられる行政経営を行うため、持続可能な財政運営と、デジタル技術を活用した業務の効率化、人材育成と組織の整備、市有

財産の適正管理と活用、整理を進め、安定した自治体経営が堅持されているまちを目指す。

問 持続可能な財政運営について、経常収支比率、基金積立残高、地方債現在高、実質公債費比率をどう改善するのか。

答 経常収支比率は、98・6割で依然として高い水準にあり、基金積立残高は一般会計で約42億1千万円、地方債現在高は約130億1400万円、共々4年連続で減少している。実質公債費比率は8・4割で、数値は上昇傾向にある。財政指標の目標は、本市の財政構造が依存財源に6割以上に頼っており、社会情勢の変化や国策に影響されるため、中長期的な予測は難しいが、今後重要な指標は前期基本計画の成果指標に盛り込むことを検討する。

令和元年度 歳入歳出決算を認定

決算特別委員会報告の主な内容

(白崎委員長、廣田副委員長、ダニエル、伊東、松本、永田、松田、榮)

令和元年度 大野市各会計決算総括表

| ●一般会計 | | | |
|----------------------------|------------|------------|----------|
| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残額 |
| 一般会計 | 189億3287万円 | 180億4407万円 | 8億8880万円 |
| ●特別会計 | | | |
| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残額 |
| 国民健康保険事業 | 36億9746万円 | 36億4312万円 | 5434万円 |
| 和泉診療所事業 | 8932万円 | 8932万円 | 0万円 |
| 後期高齢者医療 | 4億4001万円 | 4億3842万円 | 159万円 |
| 介護保険事業 (保険事業勘定) | 39億9185万円 | 39億6510万円 | 2675万円 |
| 介護保険事業 (介護サービス事業勘定) | 1168万円 | 1114万円 | 54万円 |
| 簡易水道事業 | 1億5486万円 | 1億2779万円 | 2707万円 |
| 農業集落排水事業 | 3億3672万円 | 3億3119万円 | 553万円 |
| 下水道事業 | 13億9848万円 | 13億1917万円 | 7931万円 |
| ●企業会計 ※収益的並びに資本的収入及び支出の合計額 | | | |
| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残額 |
| 水道事業 | 2億2829万円 | 2億6865万円 | ▲4036万円 |

歳入について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済環境の悪化により、本市の財政状況は今後さらに厳しくなると予測される。市税等の歳入確保は最重要課題である。今後も知恵を

絞って、適正かつ公平な徴収に努められたい。

各種イベント等の開催について

コロナ禍により人の価値観や生活様式、社会・経済活動が大きく変化し

た。これは今まで「当たり前」と思い込んでいた方法を見直すチャンスとも捉えられる。これを機に検証を行い、イベントの在り方等をリニューアルするなどコロナ禍が収束し、イベントが開催できるようなった際には、多くの方々が来場する、より魅力的なイベントとしてにぎわいが創出されるよう取り組みたい。



越前おおの水のがっこう

地下水保全対策について

地下水や湧水に対しては、水に関する学習研究施設「越前おおの水のがっこう」の開校、大学との共同研究などさまざまな取り組みがなされている。地下水の水質検査や水田湛水(たんすい)などにも経費が掛かって

いる。市民の地下水に対する意識の醸成と併せて、地下水を生活用水として活用している市民に対し、地下水協力を負担いたなくなどの施策についても権利と義務の観点から検討されたい。

常任委員会 審査報告

産経建設

(高岡委員長、林副委員長、ダニエル、伊東、松田、川端)

道の駅越前おおの荒島の郷について



所管調査

所管調査を実施し、建物の規模や配置、来場者の動線などを確認した。

委員の意見

開駅まで約4カ月と迫っている。この道の駅のアピールポイントや、季節ごとの旬の情報を整理し、適宜、適切に情報発信されたい。

開駅に向け、出店するモンベルと連携したオーブンディングイベントや四季を通じたイベントが企画されることを要望する。



道の駅完成イメージ

中部縦貫自動車道について

委員の意見

油坂までの供用開始年度の公表が、今後のまちづくりや観光戦略、道の駅への集客にとっても非常に大事なことになるので、早期公表に向けて引き続き全力で取り組まれない。

観光戦略ビジョンについて

理事者の説明

来年度で計画期間が終了するので、コロナ禍を含め今後の方向性を決め、来年の早期に改訂できるように取り組んでいく。

委員の意見

Withコロナ、アフターコロナを見据え、スピード感を持ち、観光業で稼げるように、民間事業者との連携、行政の役割などをしっかり描いたビジョンとされたい。

六呂師高原の活性化について

理事者の説明

県が主体となる「六呂師高原活性化検討会」において、環境共生を目指す姿と位置付け、日本一の星空ブランドの磨き上げなどといった、主なプロジェクトが示された。

委員の意見

これまで継続して県へ要望してきた経緯もあるので、県の主体性を確保しながら、市として確立した方針を早急に取りまとめられたい。



▼民生環境

(永田委員長、白崎副委員長、木戸屋、松本、堀田、野村)

阪谷保育園について

◎理事者の説明

耐震診断で問題のあった幼稚園舎部分を使用せず、阪谷公民館の2階の一部を借用し、保育園舎のみで、阪谷保育園の運営を継続していくこととした。

◎委員の意見

保護者や子どもたちに不安を与えないよう、丁寧に対応されたい。



阪谷保育園

陳情10号について

現在、原則一割である75歳以上の高齢者の医療

費の窓口負担を、一定所得以上の人を対象として2割とすることの検討中止を求める意見書の提出を求めるもの。

◎理事者の意見

政府の方針であり関係法改正案が提出される見通しである。

◎委員の意見

適切な施策により、高齢者の健康を維持しつつ、持続可能な制度にする必要がある。

陳情11号について

泉町地区の下水道敷設工事の詳細設計を始める前に、工事による地下水環境への影響調査の実施を求めるもの。

◎理事者の意見

平成21年度から令和元年度にかけて、工事による地下水への影響について、想定されるさまざまな調査を終えたことから、工事による影響はないものと考えている。

◎委員の意見

調査を終えたことと理解するが、これまでの調査結果については早急に公表されたい。

▼総務文教

(高田委員長、廣田副委員長、廣瀬、梅林、畑中、榮)



御清水

組織としてのガバナンスの強化について

◎委員の意見

本市職員が令和元年に発注した工事に絡む収賄事件で起訴されたことを受け、ガバナンスに不備はなかったのかと、監理体制に疑問を持たざるを得ない。

理事者におかれては今後、対策に取り組むとのことだが、事務事業の執行に係る管理及びチェック体制に関する仕組みについても見直すなど、ガ

バナンスの強化を図られたい。

機構改革について

◎理事者の説明

令和3年4月1日の機構改革は、公民館が教育委員会から市長部局へ移るなど近年にない大規模なものとなる。

◎委員の意見

このコロナ禍の中において、機構改革に伴う各種システム改修や課名等の表示変更など財政面での負担が発生すること、年度末に向けて職員にかかる負担が増加すること、新年度の各種事業の開始がスケジューリング的に大丈夫なのか気が掛かりである。市民に焦点を当てた市民ファーストの行政運営を行うことを肝に銘じ、これまで培ってこられたワンストップサービスの低下を招かぬよう対応されたい。



特別委員会報告

▼人口減少対策

(伊東委員長、林副委員長、ダニエル、堀田、高田、永田、松田、榮)

放課後の子どもの居場所づくりについて

◎理事者の説明

核家族化や、女性の社会進出、少子化が進む中、児童・生徒や保護者にとって望まれる姿となるよう引き続き検討する。一方で、学校再編計画についても注視し、慎重に考えていきたい。

◎委員の意見

保護者の不安を解消するためには、学校再編計画の状況を見極めるまで待つのではなく、今の子どもたちにとって望ましい放課後の居場所がつけられるよう、変えられる部分から変えていけるよう、検討されたい。

スポーツを取り巻く環境について

◎理事者の説明



オンライン子育て相談

令和3年度からスポーツに関する所管が教育委員会から市長部局へ移るので、今後は競技力の向上と健康づくりを合わせたスポーツに関する施策を推進していきたい。

◎委員の意見

学校再編計画において、中学校の部活動の問題は大きなテーマであり、児童・生徒や保護者にとっても、不安に感じている点である。県教育委員会が進める、地域の協力を得た部活動の推進に倣うのか、大野市独自の部活動の体制を図っていくのかを教育委員会において検討し、改訂する計画の中に位置付けられたい。

第二期大野市総合戦略

(素案) について

◎委員の意見

人口が減少する中で、本市においては中部縦貫自動車道や北陸新幹線の延伸、道の駅越前おおの荒島の郷の開駅など、かつてないチャンスがあり、この先10年の取り組みを決める大事なものとなる。チャンスを生かすためには、地域力や市民力、そして職員力をうまく組み合わせることが重要であり、行政は、市民に分かりやすい総合戦略を作り、市民に伝え、市民に参加してもらえよう努めなければならない。



道の駅越前おおの荒島の郷現況

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長、廣瀬副委員長
木戸屋、白崎、松本、廣田、
野村、畑中)

中部縦貫自動車道の進捗(しんちよく)状況等について



荒島第一トンネルの貫通

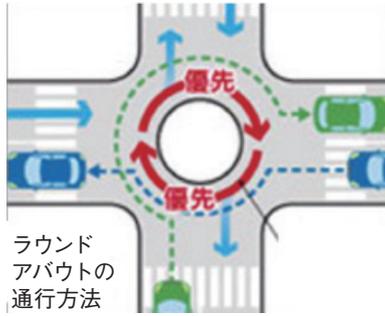
◎理事者の説明

(仮称)大野東インターチェンジと道の駅越前おおの荒島の郷に挟まれる国道158号で、「ラウンドアバウト」と呼ばれる環状交差点の整備に着手した。

大野東・和泉区間の荒島第一トンネル全長2561メートルが12月21日に貫通した。

◎委員の意見

「ラウンドアバウト」は市内で初めて整備されるので、交差点への入り方や出方をしっかり周知させたい。



ラウンドアバウトの通行方法

道の駅越前おおの荒島の郷整備の推進について

◎理事者の説明

建物の屋根や外装工事を終え、床や内装工事の仕上げとともに電気や設備工事を本格的に進めている。

◎委員の意見

このコロナ禍で大学生の就職内定率が下がっているのと聞き及んでいる。道の駅で働く人は相当数必要だと思われるので、道の駅での就職について学生の皆さんへ広くアピールし、地元での雇用につなげられたい。



本年も市民の皆さまとともに歩んでまいります

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、われわれがかつて経験したことのない我慢の一年となりました。年が明けても収束の兆しは見えません。今後も一人一人の心掛けと我慢が求められます。

さて、大野市では令和3年度が第六次大野市総合計画の初年度の年となります。この計画では、10年後の将来像を「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」と定めています。この将来像の実現に向けて、市議会としても、市民の皆さまとともに、計画の実現に向けて着実に取り組んでいきたいと思っています。今年も、皆さまに親しまれる議会だよりになりますよう努力してまいります。(座長 廣瀬浩司)

議会だより編集委員会

- 委員 廣瀬 浩司
木戸屋八代実
廣田 憲徳
野村 勝人
高岡 和行

※次回は、4月下旬の発行を予定しています。